

安全情報（緊急）

熱中症

連日各地で高気温が続いていることに伴い、熱中症、それに類似する症状、体調不良の情報が見られます。

職業の中でも林業の現場は特に厳しい環境ですが、とりわけこの時期は暑さにより体力、判断力などが鈍りますので慎重な作業をお願いします。

特に新規の就業者、年配の方、体調のすぐれない方、新たな作業に取り組む方などは指導員、先輩の助言に従い、暑さ対策を取りつつ作業をお願いします。

作業前の対策（仕事始めのミーティングなどで確認しましょう）

体調の確認をする。睡眠は十分か、夕食・朝食を十分とっているか。

熱中症予防食品（水分、塩分、サプリメント）などは所持しているか。

ファン付き作業服など暑気対策はしているか。乾きやすいインナーなどを活用しているか。

勤務時間の変更などの暑さ対応を行っているか。

こまめな休憩時間の指示を受けているか。

作業中の注意（お互いに意識しましょう）

作業中の疲労感があっても熱中症の前兆なのか、疲労の症状なのか区別がつかない。

研修生は頑張ってしまう傾向がある。

30分作業の5分休憩などこまめな休憩と都度の体調確認と水分・塩分の補給が必要。

研修生の一人作業は避ける。

休憩時にお互いが体調などを確認する。

熱中症の症状と感じたら（指導員に連絡しましょう）

作業中に汗がでない、または大量に汗が出る、足元がふらつく、吐き気がするなど体調不良を感じれば、日陰で様子を見るとともに指導員、先輩に症状を伝える。

指導員と確認し体調が悪い時は下山する。

2年度から4年度の災害報告から熱中症の事例を別添しています。

発生時間：

報告では午前中にも発生していますが、時間による影響の違いは認められません。
(作業終了後、ときには帰宅後に発症することもあります)

作業内容：

報告では、下刈中に多く発生。

主な症状：

身体の不調（虚脱感、しびれなど）、めまい、吐き気、頭痛

このような症状が出れば熱中症とわかりますが、その以前に疲労感がある、判断が鈍くなってきたとのレベルでは熱中症と自覚しないで作業を続けている場合があります。

ここまで頑張ってみて様子を見ようと「目標」を定めて作業を続けた結果、具合が悪くなった例もあります。

(参考) ファン付き作業服等の助成基準 (安全向上対策費)**助成対象**

安全対策商品カタログの商品クラスのレベルの商品

服本体

バッテリー、充電器、ケーブル、ファン他付属品は同時購入の場合補助対象

(対象外) 劣化によるバッテリー交換、ファン等部品の交換、作業服の中に着るインナー服

選定理由

- ファン等機器の保証があること(1年保証)
- ファン強度を最高で使用し、半日(3時間程度)使用可能のバッテリー容量
(1日2個使用を想定)
- 服生地が丈夫で破れにくい
- 実施作業に適した構造となっている
(刈払い機などの排気ガスがファンに入らない構造となっている等)

使用時の注意事項

速乾性のインナーを着装する(インナーは助成外)

雨天時は使用しない。また、突然の降雨時は使用を停止し、バッテリーを外し、ビニール等で防水対策を行う。

ファン付き作業服のバッテリー注意事項

消費者庁ホームページを参考

- (1) リコール対象製品でないか、リコール情報を確認。
- (2) 購入する際は、PSE マークを確認する。
(PSE マークはリチウムイオンバッテリー、モバイルバッテリー共に義務化)
- (3) 製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しない。
- (4) 充電中は周囲に可燃物を置かない。
(充電中の事故が多発しており特に注意)
- (5) 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたら使用を中止。
- (6) 充電コネクタの破損や水ぬれに注意。
- (7) 公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従う。
- (8) 使用済みモバイルバッテリーはリサイクルに出し、やむを得ず廃棄する際には他の家庭ごみと区別する。

消費者庁に確認済み(4年1月25日)